

国際婦人年連絡会 2025 年度 第8回セミナー



女性が働き続けるには「生活時間」が必須
——人間らしい働き方って何だろう。何を変えるか——

日時

2026年3月28日(土) 13:30—15:00

(13:15より入室可)

参加費

Zoom によるオンライン開催
800 円



講師： 浅倉 むつ子 さん

<プロフィール>

早稲田大学名誉教授、労働法・ジェンダー法専攻。女性差別撤廃条約実現アクション共同代表、国際女性地位協会共同代表。

最近の著作に、『新しい労働世界とジェンダー』(かもがわ出版)、『尊厳の平等という未来へ』(信山社)がある。

日本で初めて女性首相が誕生しました。ジェンダー平等指数は上がりますが、軍備増強へと猛進する政権では、女性にとって望ましい政策は置き去り、さらには改廃される恐れがあります。最初のあいさつ「働いて、働いて、働いて、働いて、働いてもらいます」は衝撃でした。過労死弁護団から抗議声明が出されていますが、10月には「心身の健康維持と従業者の選択を前提にした労働時間規制の緩和検討」を打ち出しています。どれだけの人が緩和を望んでいるのでしょうか。

若い人たちの学習会で、100年前『女工哀史』(12時間2交代制労働の実態を描いたルポ)がベストセラーになっていたことを話題にしたら、「今の8時間労働だって長すぎる。通勤時間も考えたら自由になる時間がない」といわれたと聞きました。私たちが見失っていた視点ではないでしょうか。

浅倉むつ子さんは、「生活時間」を提唱されています。人間らしい働きかたとはどんなものか、一緒に考えてみませんか。

お申し込み方法

以下のフォームからお申し込み下さい。

3月23日(月)まで

<https://iwylg-260328.peatix.com>

開催日前日までに、Zoom 参加者用 URL をお送りします。

ご質問等がありましたら、下記にお問い合わせください。

セミナー事務局 roudouseisaku2024@gmail.com



主催：国際婦人年連絡会 <https://iwylg-jp.com/> Eメール：iwylg-i@nifty.com